

平成29年度 城山商工会 経営発達支援事業

地域経済動向調査

※ D I (Diffusion Index) とは
各質問事項で「良い(増加)」とした企業割合－「悪い(減少)」とした企業割合の構成比との差(判断DI)による分析です。

例えば、回答が以下のような場合のDIの算出方法は、次のとおりです。

(例)「良い・やや良い」の回答が50%、「変わらず」の回答が30%、「悪い・やや悪い」の回答が20%の場合
DIは50「良い・やや良い」－20「悪い・やや悪い」＝＋30となります。DI値が高いほど景気が良いことを示しています。

※ 表の見方

対比している数値に対して

- ・数値が上がったもの＝↗
- ・数値が変わらないもの＝→
- ・数値が下がったもの＝↘

と表記しています。

(対比している数値は、前月比や前年同月比等、項目により異なります。)

※本調査は、平成29年6月22日時点のデータに基づいています。

【用語解説】

①有効求人倍率

有効求人倍率とは、有効求職者数に対する有効求人数の割合で、雇用動向を示す重要指標のひとつです。景気とほぼ一致して動くので、景気動向指数の一致指数となっています。

厚生労働省が全国の八口ワークの求職者数、求人数をもとに算出し、「職業安定業務統計(一般職業紹介状況)」で毎月発表しています。有効求人数を有効求職者数で割って算出し、倍率が1を上回れば人を探している企業が多く、下回れば仕事を探している人が多いことを示します。

②家計調査

家計の支出を通じて個人消費を捉えることができる統計です。個人消費を供給・販売側から見ることでできる統計はいくつかありますが、需要・消費者側から見ることでできる統計は本統計のみであり、また項目も細かいため分析でも使いやすく、消費を巡る各種分析で広く使用されます。国民経済計算の推計を行う上での基礎資料ともなっています。

③管内都県鉱工業生産指数

鉱工業生産指数とは、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動、製造工業の設備の稼働状況、各種設備の生産能力の動向を捉えています。

鉱工業指数は日本の鉱工業・製造業の活動状況を総合的にみることができる指標です。

1か月間の生産量を、直近の基準年(本資料の場合は前年同月)を100として指数化したものです。

④機械受注統計

機械受注統計調査は、機械製造業者の受注する設備用機械類の受注状況を調査し、設備投資動向を早期に把握して、経済動向分析するための基礎資料となります。加工業等の製造業の方々にとって重要な指標です。

概況

1. 全体的な動向

- ①長期金利は、小幅の変動があるものの低金利状態が継続している。
- ②倒産件数は、年度初めに減少が見られたが、再び増加傾向となっており、今後に留意が必要である。
- ③有効求人倍率は、求人過多が続いているが、求人数、有効求人倍率については横ばい傾向にある。
- ④相模原市内の消費者物価は下落傾向となっているが、大きな変化はない。
- ⑤消費者物価指数は上昇に転じ、今後に期待したい。
- ⑥融資実績は、昨年同月比を更新しており、資金需要が堅調である事が伺える。
- ⑦相模原市内業況DIについては、年度末の需要が一段落し、下落が予想されている。

		H29/1	H29/2	H29/3	H29/4
長期金利（国内銀行長期貸出約定平均金利） 出所：日本銀行	前月比	↗	↘	↘	↗
		0.817%	0.800%	0.732%	0.837%

<https://www.boj.or.jp/statistics/dl/loan/yaku/index.htm/#p03>

		H29/2	H29/3	H29/4	H29/5
倒産件数（神奈川県） 出所：東京商工リサーチHP	前月件数比	↗	↗	↘	↗
		41	60	32	53
	負債(億円)	8,708	12,451	3,342	10,804

<http://www.tsr-net.co.jp/news/status/>

		H29/1	H29/2	H29/3	H29/4
有効求人倍率（常用フルタイム）（相模原市） 出所：ハローワーク相模原	前月倍率比	↗	↗	↘	↘
		0.86	0.88	0.87	0.81
	有効求人数	4,462	4,756	4,866	4,564

<http://kanagawa-hellowork.site.mhlw.go.jp/list/hw-sagamihara/102184.html>

		H29/1	H29/2	H28/3	H29/4
消費者物価指数（総合指数）（相模原市）※基準年次：H27年 出所：神奈川県	前月比	→	↗	↘	↗
		99.5	98.8	95.5	99.7

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6783/>

		H28/4-6	H28/7-9	H28/10-12	H29/1-3
相模原市内顧客に対する融資実績（貸付金額） 出所：日本政策金融公庫厚木支店	前年同期比増減額（百万円）	↘	↘	↗	↗
		-283	-413	480	595

		H28/7-9	H28/10-12	H29/1-3	H29/4-6予測
やましん中小企業景況レポート 出所：山梨信用金庫	相模原市周辺地区DI	↗	↘	↗	↘
		-11.7	-12.5	-11.8	-17.6

http://www.yamasin.jp/outlook_report/

概況

2. 小売・サービス業

- ①家計調査によると、減少傾向となっており、今後に留意が必要である。
 ②相模原市内の百貨店・スーパー販売額は、減少傾向が続いていたが、直近では上昇に転じている。今後に期待したい。
 ③乗用車新規登録台数は、継続して増加傾向が続いており、堅調である。製造・小売まで裾野が広い分野であり、各種関連産業への波及効果も期待したい。

		H29/1	H29/2	H29/3	H29/4
家計調査（二人以上の世帯）（相模原市） 出所：神奈川県HP http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6784/	前月比	-28.2%	7.3%	0.4%	-9.9%
	消費支出(円)	257,263	275,988	277,017	249,017

		H28/12	H29/1	H29/2	H29/3
百貨店・スーパー販売額（相模原市） 出所：経済産業省HP http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/syoudou/result/kakuho_2.html	前月比	20.2%	-20.3%	-13.6%	18.4%
	百万円	11,166	8,898	7,688	9,099

		H29/1	H29/2	H29/3	H29/4
乗用車新規登録台数（神奈川県） 出所：経済産業省関東経済局 ※数値には軽乗用車を含みます http://www.kanto.meti.go.jp/tokei/keiki/	前年同月比	10.2%	7.9%	12.2%	11.7
	台	20,388	22,868	31,490	15,717

小売業概況

- 年末年始商戦も無事に乗り切り、好調である。
 X 同業者の町内からの撤退の影響で客数は増えたが単価の低い業種のため大きく売上に繋がっている実感はない。借入を繰り返しながら営業を続けている状況のため、好転とはいえない。
 △ 7月に新規取引先が2～3社あり売上金額も増えてきている反面、既存の取引先一部の売上が減少傾向になっているのが懸念される。
 △ 毎年イベント近くになると昨年の実績を気にしますが、あまり参考にならなくなってきました。消費者の動向は気まぐれなのか、難しい所です。自身のアンテナを高くして確かな情報をとらえていきたいと思えます。

		H28/7-9	H28/10-12	H29/1-3	H29/4-6予測
中小企業景況調査報告書 小売業業況DI（神奈川県データ） 出所：神奈川県商工会連合会	小売業DI	-37.2	-34.5	-32.5	-25.9

		H28/7-9	H28/10-12	H29/1-3	H29/4-6予測
（相模原市管内）景気観測調査 小売・卸売業業況DI 出所：相模原商工会議所 https://www.sagamihara-cci.or.jp/services/jouhou/keiki	小売・卸業DI	-28	-39	-20	-25

概況

2. 建設業

- ①新設住宅戸数着工は、上昇傾向が続いており、今後も同様の傾向が続くことを期待したい。
- ②公共工事請負金額は、年度末需要での大幅な増加傾向が一段落し、4月には下落傾向となった。今後の推移に留意が必要である。

		H29/1	H29/2	H29/3	H29/4
新設住宅戸数着工（神奈川県） 出所：経済産業省関東経済局HP http://www.kanto.meti.go.jp/tokei/keiki/	前年同 月比	↗ 11.1%	↘ -15.2%	↗ 5.5%	↗ 0.7%
	戸数	7,341	4,471	6,106	7,322

		H29/1	H29/2	H29/3	H29/4
公共工事請負金額（神奈川県） 出所：経済産業省関東経済局HP http://www.kanto.meti.go.jp/tokei/keiki/	前年同 月比	↗ 56.2%	↘ -12.6%	↗ 26.7%	↘ -9.8%
	億円	258	228	671	1,281

建設業概況

- 新年となっても好調をキープ出来ている。
- × 相変わらず建設業界の動きは悪いようです。少子高齢化の影響がかなりあると思います。不自由な生活をしていて、我慢する事に慣れてしまうと言う悪循環が発生している様にみられます。投資の方向が変わって来ている様に感じられます。
- × 公共工事の単価下落がはげしく、小企業者では仕事が取れない。（材料仕入単価等）
- △ 変わらない。

		H28/7-9	H28/10-12	H29/1-3	H29/4-6予測
中小企業景況調査報告書 建設業況 DI（神奈川県データ） 出所：神奈川県商工会連合会	建設業 DI	↘ -7.4	↗ -1.9	↘ -2.0	↘ -5.8

		H28/7-9	H28/10-12	H29/1-3	H29/4-6
（相模原市管内）景気観測調 査 建設業況DI 出所：相模原商工会議所 https://www.sagamihara-cci.or.jp/services/jouhou/keiki	建設業 DI	↘ -22	↗ -8	↗ 8	↘ -12

4. 製造業

概況

- ① 鉱工業生産指数は、年度末に下落傾向が見られたが、年初以降、総じて上昇傾向が続いており、今後に期待したい。
 ② 機械受注統計は、年度末、年度初めに継続して増加傾向である。今後も同様の傾向が続くことを期待したい。

		H28/12	H29/1	H29/2	H29/3
管内都県鉱工業生産指数（季節調整指数・神奈川県） 出所：経済産業省関東経済局HP ※3月分は速報値である。 http://www.kanto.meti.go.jp/tokei/keiki/	前月比	-2.4%	7.3%	0.9%	-6.1%
	指数	85.5	91.7	92.5	86.9

		H29/1	H29/2	H29/3	H29/4
機械受注統計（受注総額・全国） 出所：内閣府HP http://www.esri.cao.go.jp/stat/juchu/juchu.html	前月比	-10.0%	-1.3%	1.3%	2.7%
	億円	22,869	22,075	22,355	22,966

概況

- △ 民間需要増が今後の課題と思われる。
 X 受注が少ない。
 △ 年度末で引き合いが増えているが、材料部品の調達に支障が出ている為、別ルートからの仕入で材料費が増えている。4月以降の状況は未知数です。
 △ 受注は好調であるが、人件費の増加を単価に反映することが難しいため、忙しい割には利益の確保が出来ない。

		H28/7-9	H28/10-12	H29/1-3	H29/4-6見通し
中小企業景況調査報告書 製造業況DI（神奈川県） 出所：神奈川県商工会連合会	製造業DI	-26.6	-22.8	-24.7	-25.6

		H28/7-9	H28/10-12	H29/1-3	H29/4-6見通し
（相模原市管内）景気観測調査 製造業業況DI 出所：相模原商工会議所	製造業DI	-22	-10	0	-17

<https://www.sagamihara-cci.or.jp/services/jouhou/keiki>